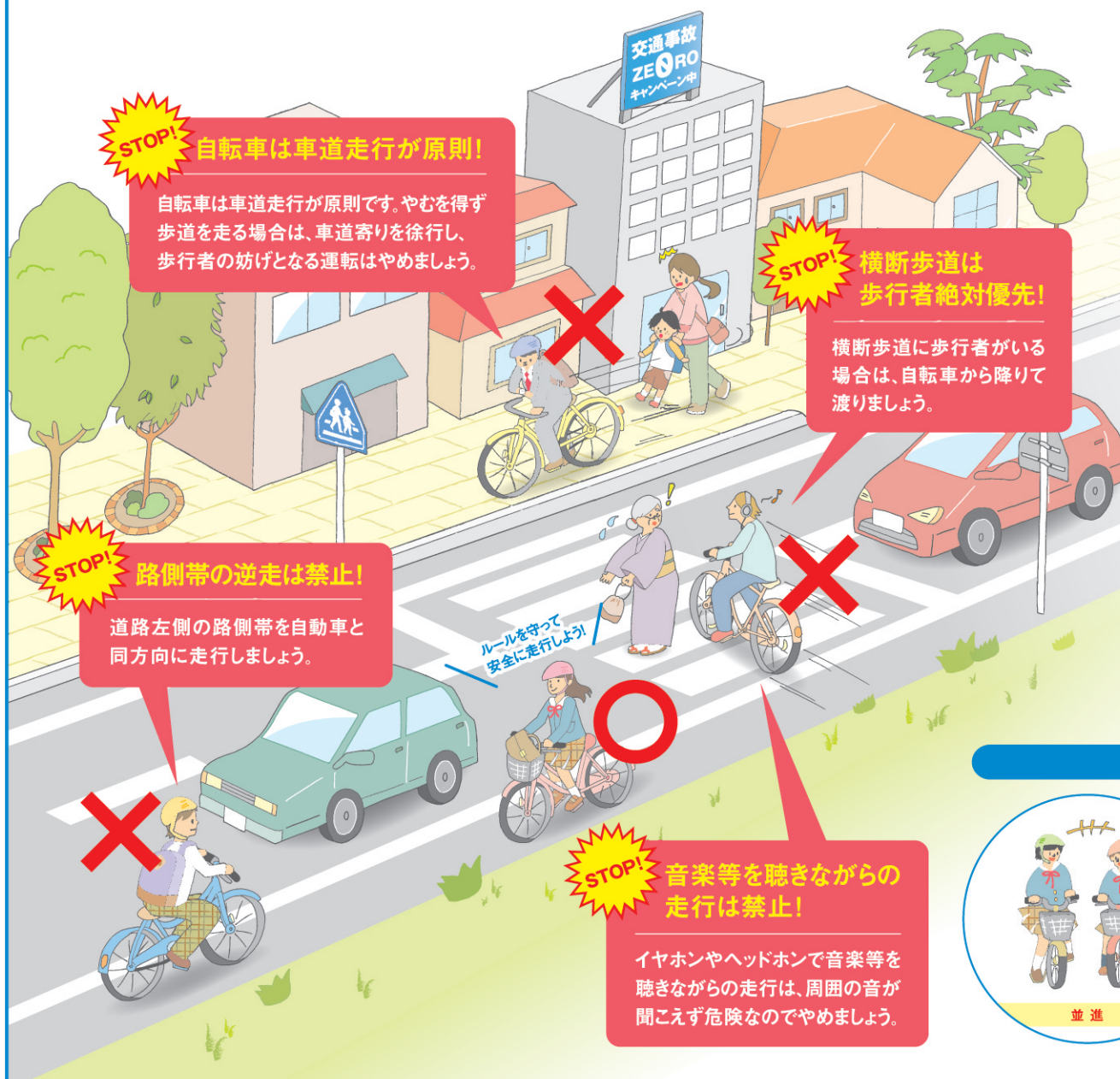




「自転車運転者講習制度」施行から1年を迎えます やめよう違反！自転車ルール再確認



健康増進やエコ意識の高まりなどを背景に、自転車利用者が増えています。危険運転を繰り返す自転車運転者に、有料講習の受講を義務づけてから1年。宮城県内の自転車事故は減少傾向にありますが、昨年1年間の自転車事故関連死傷者の4割に何らかの交通違反が認められました。

自転車は手軽に利用できるため、歩行時と同じだと思いがちですが、自動車と同じ「車両」であり、車道走行が原則です。路側帯のあるところでは、左側の路側帯を走行することができませんが、歩道では歩行者優先で車道寄りを徐行しなければなりません。横断歩道に歩行者がいる場合は自転車から降りて通行するのがルールです。歩道でも、車道でも、思いやりをもって走行するのがマナー。また、携帯電話等の使用や傘を差しての「ながら運転」、並進走行も禁止です。自転車の交通ルールとマナーを再確認し、安全な利用を心がけましょう。

その他禁止行為(一例)



取材協力 / 宮城県警察本部 企画制作 / 河北新報社営業局

毎日安心して乗るために損害賠償保険に加入しましょう

近年、自転車利用者が歩行者を死傷させ、高額な賠償金の支払いを命じる判決が出ています。また、未成年者が起こした事故は、親権者に監督責任が追及される場合があります。補償内容と保険料を確認し、ライフスタイルに合った保険に加入しましょう。補償有効期限の確認と自転車の点検・整備もお忘れなく。



保険の種類

自転車安全整備店で加入できる
TSマーク付帯保険

自動車保険や
火災保険などの特約

損害保険会社の
自転車保険

参加
チーム
募集中

あなたもチャレンジ!無事故無違反
セーフティ123

高齢者も書いて
ご参加ください。

応募締切 **6月14日** 実施期間 **6月15日~10月15日**

お問い合わせ
みやぎ交通安全啓発・実践キャンペーン実行委員会事務局
宮城県震災復興・企画部総合交通対策課内 / TEL.022-211-2438

【みやぎ交通死亡事故ゼロキャンペーン】交通死亡事故の抑止と飲酒運転根絶に向けて全力で取り組んでいます。

主催／宮城県、宮城県警察本部、河北新報社 特別協力／仙台市 ●お問い合わせ／みやぎ交通死亡事故ゼロキャンペーン事務局 河北新報社営業局営業部内
〒980-8660 仙台市青葉区五橋1-2-28 Tel. 022-211-1318 9:30~17:00(平日のみ)

オレオレ詐欺の被害が
多発しています

「携帯と小切手の入ったカバンをなくした」は詐欺!
平成28年4月末の特殊詐欺被害件数 97件(前年比-24件)
金額 2億4,414万円(前年比-8,013万円)

警察相談電話
TEL.022-266-9110

私たちも、「みやぎ交通死亡事故ゼロキャンペーン」に賛同し、交通安全に取り組んでいます。

特別協賛／JA・JA共済連宮城

企画協賛／Paradiso 扇屋商事株式会社

新日鐵住金グループ

協賛



(順不同)